



## 新年のごあいさつ

一般社団法人 福井県トラック協会  
会長 清水 則 明

令和3年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスに翻弄され続けた1年でありました。一昨年12月に中国湖北省武漢市で確認されて以降、感染が世界各国に拡がりを見せ、各国政府は厳しいロックダウン（都市封鎖）や入国制限措置を導入したことから、人とモノの移動が世界的に停滞し、経済に深刻な打撃を与えました。

我が国においても、都市部などでの感染拡大により政府が緊急事態宣言を発令し、イベントや外出の自粛、学校の臨時休校、経済活動の縮小などの措置が執られ、夏に開催が予定されていた「2020 東京オリンピックとパラリンピック」も延期となりました。

さらに、コロナウイルスの産業界への影響は著しく、特に、入国制限措置やロックダウン、外出自粛要請などの煽りを直接的に受けている航空産業や観光業、ホテル・旅館業、外食産業などは深刻な事態となりました。また、製造業の多くで需要が減退している上にサプライチェーンの寸断により生産縮小を余儀なくされ、大きな打撃を受けています。

一方、業績好調とまでは言えないかも知れませんが、食料品や日用品の製造や、それらを販売するスーパーやコンビニ、ドラッグストアなどの社会インフラに関係する業種は、コロナ禍にあっても需要が続いています。

トラック運送業界をみますと、請け負っている荷主企業の業種によって、実績の優劣が二極化したのではないかと考えられます。

また、感染拡大当初はマスクや消毒剤が不足し、感染予防に関する荷主企業の要請に十分応えられない状況や、一部ではトラックドライバーとその家族に対する誹謗中傷や偏見がみられ、対応に苦慮した会員もいたと聞き及んでいます。

その一方で、コロナ禍にあっても、自らのリスクを顧みず現場で働くエッセンシャルワーカーの存在や、物流を支えるトラック運送事業の重要性が再認識されることになりました。

このような状況の中、協会が重点的に取り組んだ課題の一つが、コロナ対策に関する会員への支援であります。

実施したアンケート調査の結果から、「マスクや消毒剤が不足している」との回答がみられたことから、少量ではありますがマスクや消毒剤、点呼時等に使用できる非接触型温度測定器を全会員に配布しました。

また、ウイルス感染拡大防止のため自粛生活を余儀なくされる中でも、県民の暮らし

と経済を守るため、昼夜を問わず懸命に物流を支えているトラックドライバーに励ましと感謝の気持ちを伝えていただきたいとの思いから、「ありがとうの手紙」を一般の方々に募集しました。その結果、総数155点もの応募があり、その内容はいずれもドライバーを勇気づけるものでした。

そのほか、ドライバーやエッセンシャルワーカーの方々にエールを送る「ラッピングトラック」や、緑ナンバートラックの運転手に感謝の気持ちを伝える「緑のライトアップ」など、コロナ禍の中でも懸命に尽力するドライバーへ応援メッセージを発信するとともに、物流を支えるトラック運送業界のPRに力を注ぎました。

さらに、会員の皆様にコロナ対策に関する各種支援制度を周知するため、説明会の開催や情報発信にも努めました。

本年も、コロナとの戦いは続くと思われるので、感染状況や社会の動きを注視しながら協会として必要な対応をとってまいります。

二つ目は、労働力の確保であります。

コロナウイルス感染拡大の影響で、「一時的に」需要の落ち込みがみられるもの、長期的にはドライバー不足はより深刻化しています。

協会では、昨年、若者向けに運送業界のイメージアップを図るため、アニメを素材としたコマーシャル動画を製作しYouTubeで流したところ、視聴回数が30万回を数えるなど反響を得ました。また、バス・タクシー団体と合同で、自動車学校の教習コースをお借りして「大型車の運転体験会と会社説明会」を開催するなど、新しい試みにも挑戦しました。

本年も、若者や女性はもとより、各年代の方々が運送業界に興味を持ち、労働力確保につながっていくような取組みを進めていきたいと考えております。

次に、「働き方改革の推進」です。

深刻なドライバー不足の背景にあるのは常態化した長時間労働にあり、働きがいや働きやすさを向上させることは、目先の人手不足解消だけでなく中長期的に人材を確保するためにも欠かせない要素です。

「働き方改革関連法」の成立により、自動車運転業務の時間外労働については、3年後（令和6年度）から年間960時間以内の罰則付き上限規制が適用されます。

また、ドライバーの労働条件の改善などを図るため、平成30年12月に貨物自動車運送事業法が改正され、このうち、昨年4月に国土交通省から「標準的な運賃」が告示されました。トラック運送事業を持続可能なものとするためには「標準的な運賃」の活用を進めていくことが最も重要なことだと考えております。

このように、依然として多くの課題を抱えておりますが、本年も、社会に貢献し、魅力あるトラック運送業界として評価されるよう、役職員一同最善を尽くして取り組んでまいりますので、当協会の事業運営にご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、皆々様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。